

WebELS: e-Learning/ e-Communication 統合環境

— インターネットが教育、会議、ビジネスを変える —

WebELSプロジェクト

目的

WebELS™は、クラウド型システムとして、普通のノートPCで、“どこでも、いつでも、誰でも”使える、汎用 e-Learning/e-Communication 統合プラットフォームを提供する。WebELS™を活用することによって、高等教育の多様化、国際化やビジネスコミュニケーションの多様化・国際化が実現できる。これに必要な、オンデマンド個人学習機能、オンライン Internet ビデオ会議を、自動切り換え多言語インタフェースとともに、提供する。

特徴

WebELS は、独自の理念で設計されたサーバ型のクラウド・システムであり、普通のパソコンで、世界のどこからでも Internet ブラウザを通して利用できる。マルチ OS 対応であり、特別なソフト・ハードの準備は不要である。日英自動切換えインタフェースを持ち、そのままグローバルに利用できる。強力なオーサリング機能と個人学習機能を持ち、低速 Internet でも使えるドキュメント共有型ビデオ・オンライン会議機能を持つので、教育からビジネスまで、広く利用できる。

設計理念

- 独自の設計理念：科学技術高等教育、ビジネスコミュニケーションのニーズに基づいて、独自に設計された汎用プラットフォーム
- クラウド型システム： IE や Firefox を通してアクセスすれば必要なソフトウェアは自動的にダウンロードされ、実行される
- 音声・カーソル同期再生機能： PPT やビデオを使った講義やレクチャーをユーザ PC 上で再現するオンデマンド学習機能 (図1)
- 高機能オンライン会議システム： PPT プレゼンテーションとビデオ会議を組み合わせて利用出来るオンライン会議システム (図2)
- マルチ OS システム： Windows、Mac、Linux など色々な OS で利用できる
- 高品質・高機能システム： Java と Flash の有機的結合により、両者の特徴を併せ持つ高品質・高機能システム
- エンドユーザ指向： 専門知識が無くても、コンテンツ作成・配信、オンデマンド学習、ビデオ会議を企画・運営出来る
- 多言語インタフェース： ブラウザの言語で自動切換えする多言語インタフェースをもち、そのまま国内、国際利用できる
- オープンソースとフルサービス： オープンソースサービスとともに、フルサポートサービスを提供

動作環境／実績／連携



図1 再生画面例 (音声とカーソルの同期)

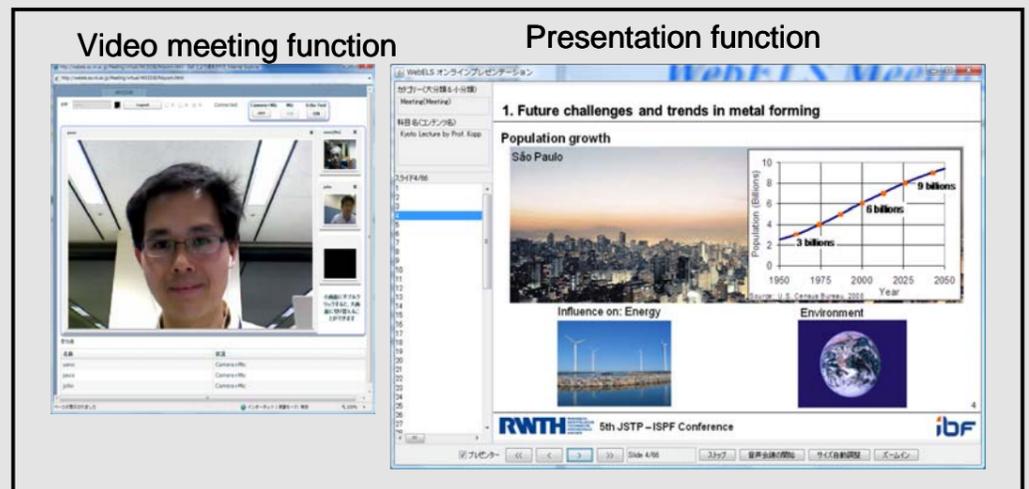


図2 “プレゼン+ビデオ会議”によるInternetオンライン会議例

動作環境

- サーバ： Apache+Tomcat+MySQL on Linux, RED5
- プログラミング言語： Java (Applet/JSP/Servlet), Flex
- ソースデータ形式： Office Documents, pdf, Video (ami/mpg/mov)
- ユーザPC： Windows/Mac/Linux (JRE, Flash Player)

海外実績等

- UNESCOアジア本部 (ジャカルタ) のe-LearningプロジェクトとWebELSサーバの共同運用およびアジア・太平洋地域への展開に連携協力している
- NII情報学専攻-清華大学オートメーション学科間交換遠隔講義シリーズ
- 日独工学アカデミー間e-meeting (東京-ベルリン) に利用
- JST-JICA連携地球規模課題解決国際連携事業 (日本-アルジェリア) の専門家育成遠隔教育に活用予定

連携団体・企業

UNESCOアジア本部 (インドネシア)、清華大学 (中国)、チュラロンコーン大学 (タイ)、STMIK-LIMKI (インドネシア)、共生システムズ (株)、(株) コメット、オーム社、e-Communication Consortium (e-CC)



連絡先: 上野晴樹 名誉教授 / 国立情報学研究所 (National Institute of Informatics)

TEL: +81-3-4212-2630

Email: ueno@nii.ac.jp

[http:// webels.ex.nii.ac.jp/](http://webels.ex.nii.ac.jp/)